

区政をきく (一般質問)

平成20年第4回定例会では、各会派から10名の議員が、区政全般にわたり一般質問を行いました。

以下、概要をお知らせします。



山元 敬子 議員 (公明)

乳がん検診について

①乳がんの実態を女性よりもより男性に対しても啓蒙することが重要だ。毎年10月は乳がん撲滅月間だが啓発運動の実施内容は、②都のがん対策推進計画が今年度からの5年計画で策定され、乳がん検診受診率50%の目標が掲げられた。目標達成への残り4年間の拡大計画は、③都からの目標達成に向けた支援は、④枠の拡大にあたり、検診課題や受診者拡大への所見は、**児童保健事業部長** ①啓発用ポケットティッシュなどを配布し、男女を問わず啓発に

①健康手帳について(ア)どのようか。(イ)データの記録は生涯にわたり継続されるなどが望

①公共的な場所における設置拡大の現況や今後の計画は、②民間マンションへの設置を促進するために貸し出しや助成などの制度を導入しては、**児童保健事業部長** ①区施設への設置は一通り終了した。各施設管理者が検討すべきだと考えるが、順次拡大されるよう啓発に努める。②効果的

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域



①公共的な場所における設置拡大の現況や今後の計画は、②民間マンションへの設置を促進するために貸し出しや助成などの制度を導入しては、**児童保健事業部長** ①区施設への設置は一通り終了した。各施設管理者が検討すべきだと考えるが、順次拡大されるよう啓発に努める。②効果的

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域

①ながわ花海道プロジェクト活動への支援は、②タンクの増設により雨水利用が進められるよう支援を。③春には一面菜の花畑となる。菜種油をとったり、油かすの飼料への活用など資源として地域



飯沼 雅子 議員 (共産)

営利企業の認証保育園で問題続出。待機児解消は認可保育園の増設で

①区が進める再開発でマンション建設は急増。ファミリー層を呼び込む政策をとっているが、保育需要をどのようにとらえ対策をとるのか。②保育需要にこたえる認可保育園増設計画を。③営利企業経営の認証保育園等々起きている問題の原因をどのようにとらえているのか。④都と区が連携し総点検を行うとともに、事故や不正を防ぐための対策は、認証保育園の保育士配置基準を引き上げるための支援を求める。⑤国が進める直接契約、最低基準の引き下げ導入は現行保育制度の解体につながる。反対を表明し、国に保育予算の増額と保育環境改善の働きかけを。**児童保健事業部長** ①保育需要は微増傾向が当面継続すると見込まれるので、認定こども園や認可保育園の開設、既存園の移転による定員増あるいは定員弾力化によって受け入れの拡大を図っている。②待機児童の解消については既存施設の活用を図るとともに、幼保一体化に伴う認可保育園の増設など計画的に進める。③認証保育所にかかわる課題は、個々の状況によりその要因が異なる。④認証保育所の設立および指導権限は都にあるが、区としても都の指導への立ち会いに加え独自に

かであり、車両等の減少を考慮すると現状よりも減ると考えており、中止する考えはない。②第二次品川区一般廃棄物処理基本計画において区民1人当たりのごみ排出量を平成18年から28年度までに17.2%を削減する目標を掲げている。削減策は資源の分別などの周知徹底を図るなどだ。③汚れていないプラスチック製容器包装の回収量は増加し成果は上がっている。その他プラスチックの資源化は多くの課題があり考えていない。④家庭用生ごみ処理機の購入助成を行っており継続していく。バイオガス化は、多くの課題があり困難だ。⑤事業者自らの責任で回収、再利用促進する制度を構築するよう全国都市清掃会議を通じて働きかけを行っている。

①地球温暖化を加速するサーマルリサイクルの中止を求め、②ごみ減量の目標値と減量のための対策は、③プラマークの普及もすべて資源として位置づけ資源化を一層進めたい。④生ごみの資源化を進めるための講習会、団地・マンションなど集合住宅への支援、生ごみのバイオガス化の研究など積極的に取り組んでいく。⑤現行の「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」では不十分な拡大生産者責任を強め、さらなるごみの発生抑制、再利用、再利用促進のための法改正をめぐり、国に働きかけては。**環境清掃事業部長** ①東京二十三区清掃一部事務組合ではCO₂排出量の増加はわず

①首相が3年後の消費税増税を明言したが、増税された場合の区民の家計と中小零細企業や商店の営業への影響に考えは、②消費税増税は区民の暮らしと営業に深刻な影響を与え、景気を冷え込ませる。消費税増税に反対し、区民を守るべきでは。**区長** ①税制のあり方については、国においてさまざまなか角度からの検討がなされるものと考えられる。現段階で見解を示すという状況ではない。②消費税は国税であり、国政の場で論議されるべきものと考えられる。したがって、消費税の議論に自治体の首長として賛否を申し上げる考えはない。

